

28畜技協第378号
平成28年8月31日

各 位

公益社団法人 畜産技術協会
会 長 菱 沼 毅
〔公印省略〕

アニマルウェルフェアシンポジウム in 沖縄「わが国のアニマルウェルフェア
(産業動物)の現状と今後を考える」の開催について

時下ますますご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から当協会の事業の実施につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申
し上げます。

さて、当協会では、国産畜産物安心確保等支援事業（快適性に配慮した家畜の飼養管
理推進事業）を実施しており、国際的な取組みが進んでいるアニマルウェルフェアにつ
いて、生産者及び畜産関係者等への普及を図り、生産現場における取組み等を推進するこ
とを目的に、別添開催要領によりアニマルウェルフェアシンポジウム in 沖縄「わが国のア
ニマルウェルフェア（産業動物）の現状と今後を考える」を開催することとなりました。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ですが、シンポジウムの趣旨をご理解いただき、関
係者への広報等ご支援ご協力下さいますようお願い申し上げます。

また、標記シンポジウムへの参加のご希望がございましたら、当協会までお申込み下
さいますようお願い申し上げます。

問 合 先

公益社団法人 畜産技術協会
〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9
TEL : 03-3836-2301
FAX : 03-3836-2302

担当者 : 八木、新井



アニマルウェルフェアシンポジウム in 沖縄
「わが国のアニマルウェルフェア（産業動物）の現状と今後を考える」

開催要領

1 目的

産業動物に関するアニマルウェルフェア（以下「AW」とする）は、国際機関であるOIE（国際獣疫事務局）において、AWの一般原則や畜種毎の生産システムに関するAW規約が採択されるとともに、ISO（国際標準化機構）でもAW技術仕様書の作成に関する検討が進められています。また、海外の企業等ではAWに関する自主的な基準や規制を設ける等、商業面でもAWが積極的に利用されています。

そこで、産業動物のAWに関する基本的な考え方や海外でのAWの現状、畜産現場におけるAWへの取組み等の情報を共有することでAWへの理解促進を図るとともに、生産者及び畜産関係者等へのAWの普及を図り、生産現場におけるAWの取組みを推進することを目的として本シンポジウムを開催します。

2 主催 九州・沖縄アニマルウェルフェア（産業動物）連絡会、公益社団法人畜産技術協会

3 後援 沖縄県農林水産部畜産課、琉球大学農学部、沖縄県獣医師会、
鹿児島大学農学部・共同獣医学部、東海大学農学部、宮崎大学農学部、
農研機構九州沖縄農業研究センター（順不同）

4 開催日時及び場所

- (1) 日時 平成28年10月21日（金） 13:20～17:00（受付13:00から）
- (2) 場所 琉球大学 研究者交流施設・50周年記念会館（沖縄県中頭郡西原町字千原1番地）

5 講演

- (1) アニマルウェルフェア(AW)の背景と歴史 伊藤 秀一(東海大学 農学部 准教授)
- (2) AWをめぐる海外の取組み事情 佐藤 衆介(帝京科学大学 生命環境学部 教授)
- (3) 乳肉用牛のAW取組み事例と課題 竹田 謙一(信州大学 学術研究院農学系 准教授)
- (4) 豚の免疫学的手法による外科的去勢代替法 佐々木家治(ゾエティス・ジャパン株式会社)
- (5) 養鶏場におけるAW取組み事例と課題 一柳 憲隆(有限会社丸一養鶏場 代表取締役)
- (6) 全国の飼養実態アンケート調査からAWを考えるー今後のAW推進のためにー
八木 淳公(公益社団法人畜産技術協会)

6 参加申込

当日参加も可能ですが、講演要旨をご希望の方は、10月5日（水）までに、FAXで下記の「参加申込書」をお送りいただくか、E-mailで「AWシンポジウム参加申込」の表題で、お名前、所属先、連絡先をご記入の上、事前申込をお願いします。

7 申込先 (公社)畜産技術協会 担当；八木、新井
TEL：03-3836-2301 FAX：03-3836-2302 E-mail：info@jlta.jp

★アニマルウェルフェアシンポジウム in 沖縄 参加申込書

氏名		
所属		
連絡先	TEL	FAX

わが国のアニマルウェルフェア (産業動物)の現状と今後を考える

開催日時・場所

2016年10月21日(金) 13:20~17:00

琉球大学 研究者交流施設・50周年記念会館



講演

●アニマルウェルフェア(AW)の背景と歴史

伊藤 秀一(東海大)

●AWをめぐる海外の取組み事情

佐藤 衆介(帝京科学大)

●乳肉用牛のAW取組み事例と課題

竹田 謙一(信州大)

●豚の免疫学的手法による外科的去勢代替法

佐々木 家治(ゾエティス・ジャパン)

●養鶏場におけるAW取組み事例と課題

一柳 憲隆(丸一養鶏場)

●全国の飼養実態アンケート調査結果からAWを考える

—今後のAW推進のために— 八木 淳公(畜産技術協会)

参加申込: 当日参加もできますが、レジメ(講演要旨)をご希望の方は10/5(水)までにFAX又はE-mailで、「AWシンポジウム参加申込」の表題で、お名前、所属先、連絡先をご記入の上、事前申込をお願いします。

参加申込・連絡先:(公社)畜産技術協会(担当 八木、新井)

TEL:03-3836-2301・FAX:03-3836-2302・E-mail:info@jlta.jp

参加自由

主
後

催:(公社)畜産技術協会、九州・沖縄アニマルウェルフェア(産業動物)連絡会

援:琉球大学(農学部)、沖縄県農林水産部畜産課、(公社)沖縄県獣医師会、鹿児島大学(農学部・共同獣医学部)、東海大学(農学部)、宮崎大学(農学部)、農研機構九州沖縄農業研究センター(順不同)